

5 年齢別常用求人・求職・就職状況

常用（含パート）

2年3月

	新規求人数		月間有効求人数		新規求職 申込件数	月間有効 求職者数	就職件数	新規求人倍率		有効求人倍率	
	就職機会	求人数均等	就職機会	求人数均等				就職機会	求人数均等	就職機会	求人数均等
	積み上げ方式	配分方式	積み上げ方式	配分方式				積み上げ方式	配分方式	積み上げ方式	配分方式
年齢計	58,556	58,556	170,881	170,881	32,677	158,282	7,199	1.79	1.79	1.08	1.08
19歳以下	746	5,794	1,609	16,933	363	1,272	78	2.06	15.96	1.26	13.31
20～24歳	5,868	6,491	14,724	19,054	2,859	11,550	388	2.05	2.27	1.27	1.65
25～29歳	7,518	6,463	22,470	18,981	3,645	17,650	564	2.06	1.77	1.27	1.08
30～34歳	6,123	6,286	19,257	18,489	2,991	15,344	541	2.05	2.10	1.26	1.20
35～39歳	5,281	5,914	16,442	17,230	2,621	13,461	563	2.01	2.26	1.22	1.28
40～44歳	5,314	5,479	16,162	15,945	2,830	14,388	681	1.88	1.94	1.12	1.11
45～49歳	6,047	5,080	18,879	14,811	3,521	18,412	976	1.72	1.44	1.03	0.80
50～54歳	5,891	5,028	18,067	14,664	3,534	18,218	954	1.67	1.42	0.99	0.80
55～59歳	4,981	5,016	16,111	14,629	2,958	16,015	820	1.68	1.70	1.01	0.91
60～64歳	3,812	3,812	12,267	10,993	2,686	14,632	777	1.42	1.42	0.84	0.75
65歳以上	6,975	3,193	14,893	9,152	4,669	17,340	857	1.49	0.68	0.86	0.53

年齢計	58,556	58,556	170,881	170,881	32,677	158,282	7,199	1.79	1.79	1.08	1.08
24歳以下	6,614	12,285	16,333	35,987	3,222	12,822	466	2.05	3.81	1.27	2.81
25～34歳	13,641	12,749	41,727	37,470	6,636	32,994	1,105	2.06	1.92	1.26	1.14
35～44歳	10,595	11,393	32,604	33,175	5,451	27,849	1,244	1.94	2.09	1.17	1.19
45～54歳	11,938	10,108	36,946	29,475	7,055	36,630	1,930	1.69	1.43	1.01	0.80
55歳以上	15,768	12,021	43,271	34,774	10,313	47,987	2,454	1.53	1.17	0.90	0.72

年齢計	58,556	58,556	170,881	170,881	32,677	158,282	7,199	1.79	1.79	1.08	1.08
44歳以下	30,850	36,427	90,664	106,632	15,309	73,665	2,815	2.02	2.38	1.23	1.45
45歳以上	27,706	22,129	80,217	64,249	17,368	84,617	4,384	1.60	1.27	0.95	0.76

（注） 年齢別の求人倍率及び求人数は、次の2つの方法により集計を行っている。

「就職機会積み上げ方式」

個々の求人について、求人数を対象となる年齢階級〔5歳刻みの11階級〕の総月間有効求職者数で除して当該求人に係る求職者1人当たりの就職機会を算定し、全有効求人についてこの就職機会を足し上げることにより、年齢別有効求人倍率を算出する。年齢別月間有効求職者数は、年齢別有効求人倍率に年齢別月間有効求職者数を乗じて算出する。なお、新規求人倍率及び新規求人数も同様の方法により算出する。（この際、月間有効求職者数の代わりに、新規求職申込件数を用いる。）

平成18年7月分より公表。

「求人数均等配分方式」

求人の対象年齢の種類（対象年齢がどの年齢階級〔5歳刻みの11階級〕にまたがるかにより66通りに分類）ごとに、求人数を対象年齢に相当する各年齢階級に均等に配分して、年齢別の月間有効求人数を算出し、これを年齢別の月間有効求職者数で除して、年齢別有効求人倍率を算出する。新規求人倍率及び新規求人数についても同様の方法により算出する。